

鳴子博子ゼミ 紹介 2017

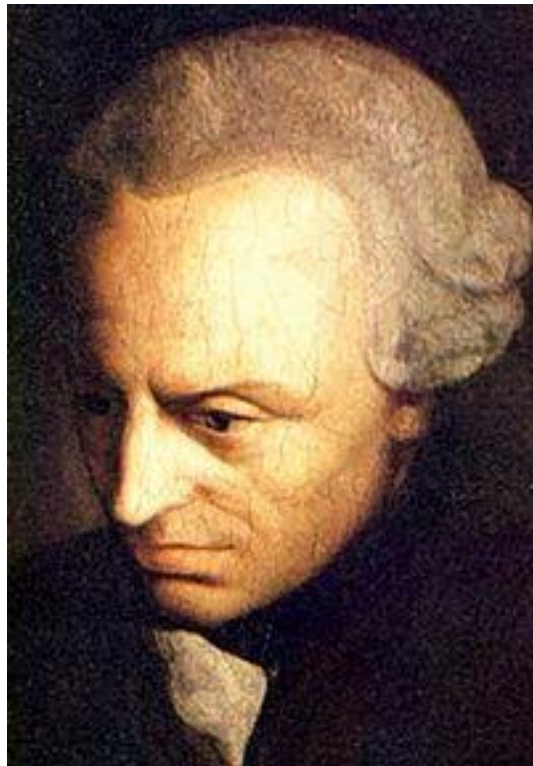
ゼミ長 国際経済学科3年 川原東吉

○社会思想のゼミ

▶ 鳴子ゼミでは社会思想を学びます。



ジャン=ジャック・ルソー
(仏 1712~78)



イマヌエル・カント
(独 1724~1804)

丸山眞男
(日 1914~96)



ルソー(1762) 『エミール』

エミール(上)

ルソー著

今野一雄訳



「万物をつくる者の手をはなれるときすべてはよいものであるが、人間の手にうつるとすべてが悪くなる」という冒頭の言葉が示すように、ルソー(1712-78)一流の自然礼讃、人為排斥の哲学を教育論として展開した書。ある教師がエミールという一人の平凡な人間を、誕生から結婚まで、自然という偉大な教師の指示に従って、いかに導いてゆくかを小説の形式で述べてゆく。



青 622-1
岩波文庫

少年エミールを主人公に、彼の誕生から成長を見守る小説風のお話です。

近代教育学の古典として名高い著書です。

このような古典の名著を輪読、内容について議論していくのが基本のゼミ形式となります。

○経済学部での社会思想

人間の営み 社会科学
(政治、経済、文化)

人間の考え方 (哲学、思想)

あらゆる
人間の営みに通底する
考え方

○その他

- ・人数

演習2 (3年)

男子9 女子1 計10名

演習1 (2年)

男子8 女子3 計11名

- ・ゼミ合宿 (夏、冬計2回)

- ・ゼミ飲み会 (不定期開催)

○選考方法

- ・こんな人は

戦争、暴力、国家、ジェンダー、正義、貧困、格差などのワードが気になって仕方のない人

- ・選考方法

レポートはありません。選考日当日に当方が用意した短いテキストを読んで、作文を書いていただきます。

※今年4月の追加募集のときの方法です。

最後に

鳴子ゼミはおよそ経済学部らしからぬ社会思想という内容を扱っています。また学んだことがすぐに使えない、役立たないかもしれないジャンルです。

しかしこのゼミで学べることは今後どのような人生を歩むにしても我々の芯となって、様々な課題に直面した際のヒントを与えてくれるものとなるはずです。

一緒に知の冒険へ出かけましょう！

皆さんのゼミライフが充実したものとなることを願っております。